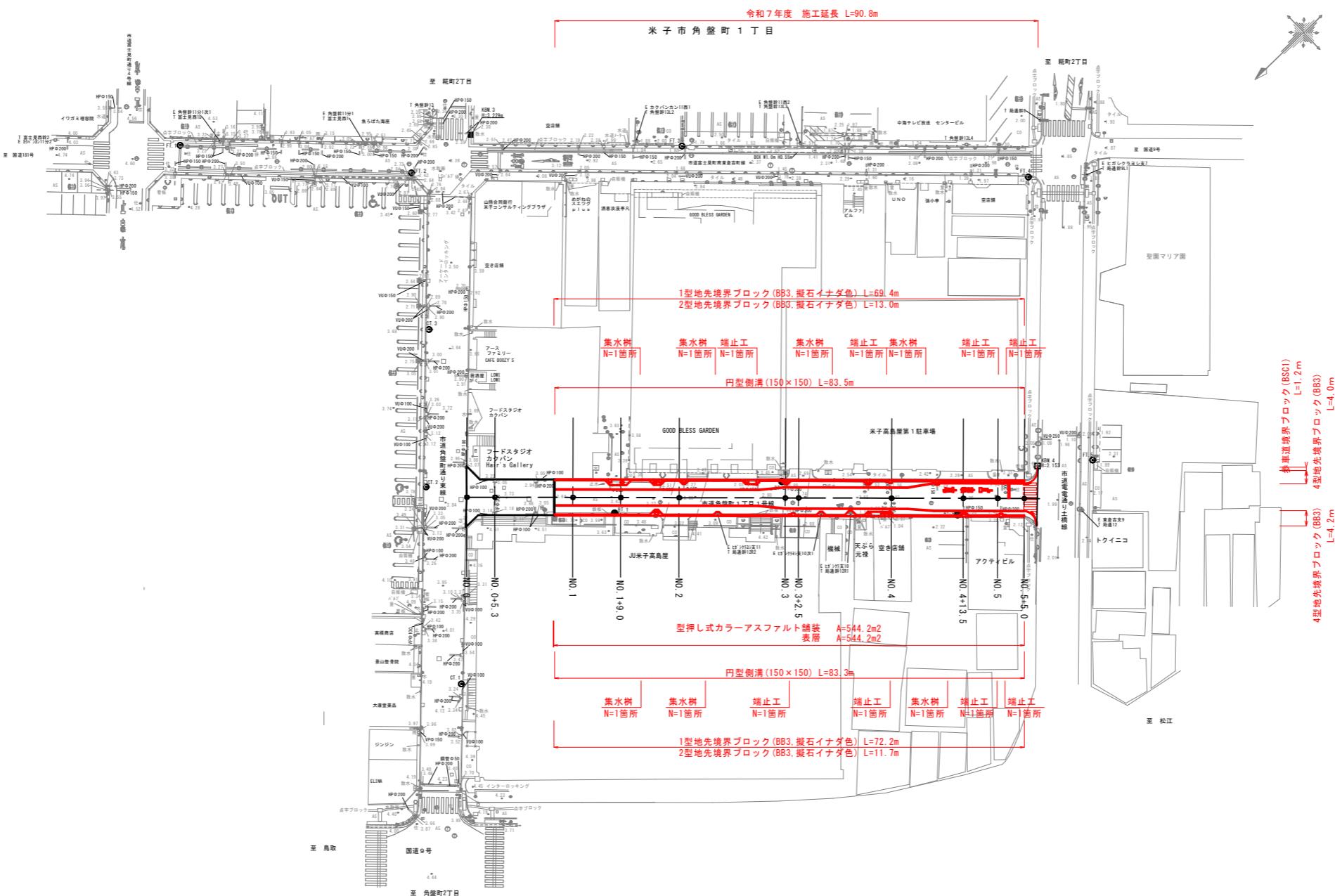


平面図

S=1:500



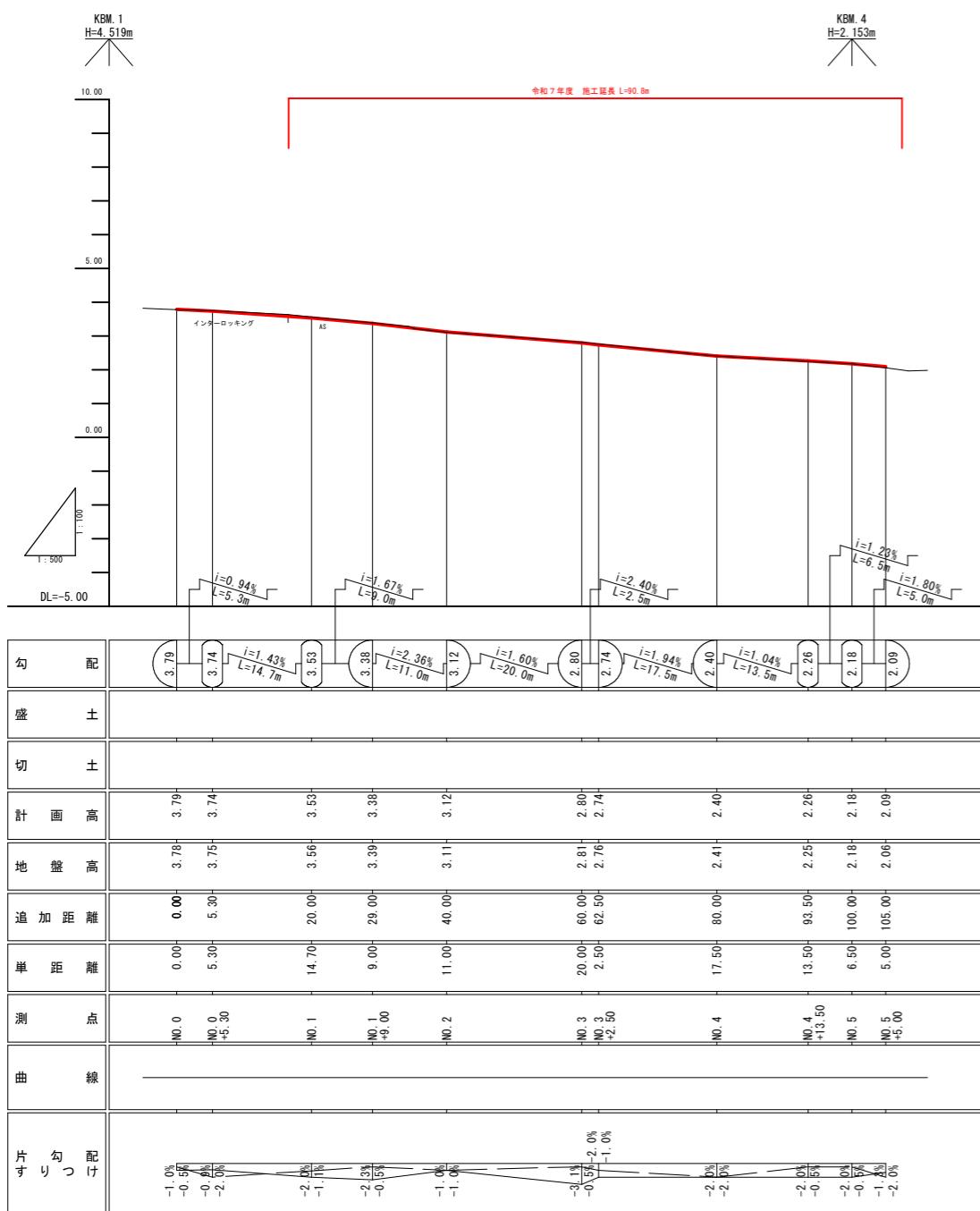
曲線表			
IP	IP間方向角	IP間距離	Y座標
NO.0	224-08-13	105.000	-62563.771 -90854.684
NO.5.0			-62639.127 -90854.684

4級基準点	X座標	Y座標	Z座標
BT.1	-62581.715	-90803.064	3.364
BT.2	-62608.512	-90820.667	2.717
BT.3	-62627.976	-90848.154	2.247

世界測地系

図面番号	第 8 枚内 1 号
図面名称	市道角盤町1丁目1号線道路整備工事 (ウォーカブル推進事業) 平面図
縮尺	1:500 (A3=1:1000)
製図年月日	令和 年 月 日
写真年月日	令和 年 月 日
記載者	米子市都市整備部都市整備課

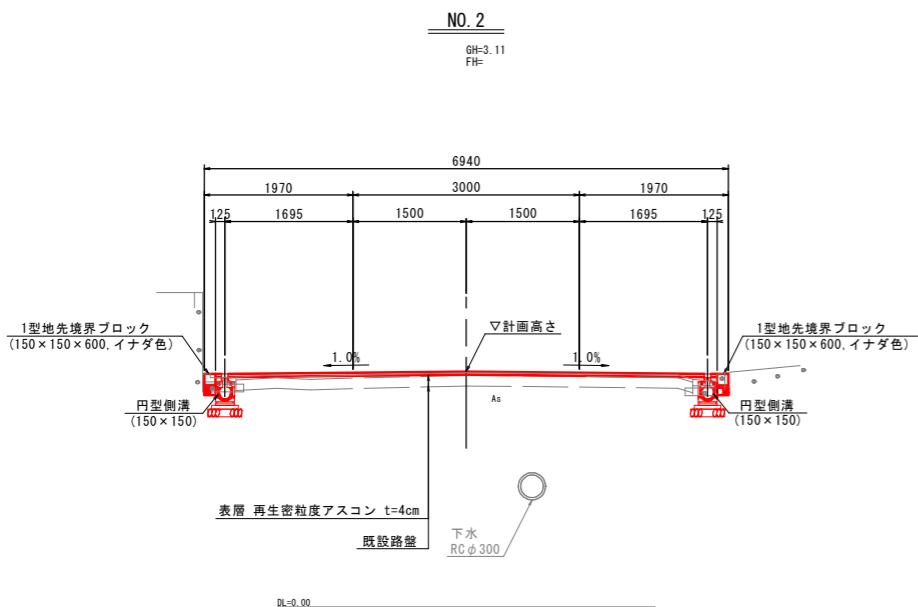
## 縦断面図

V=1:100  
H=1:500

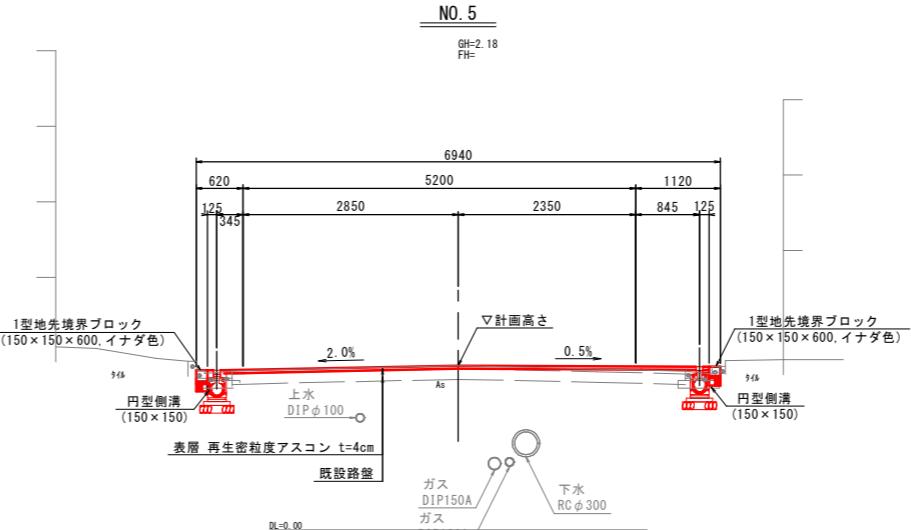
図面番号	第 8 枚内 2 号
図面名称	市道角盤町 1 丁目 1 号線道路整備工事 (ウォーカブル推進事業) 縦断面図
縮尺	V=100:H=500 (A3 V=200:H=1000)
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部都市整備課	

# 標準断面図

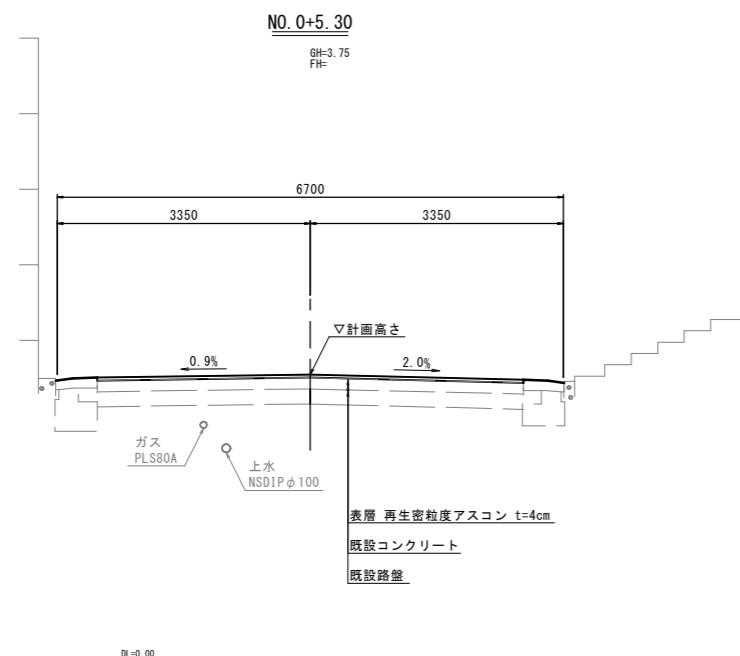
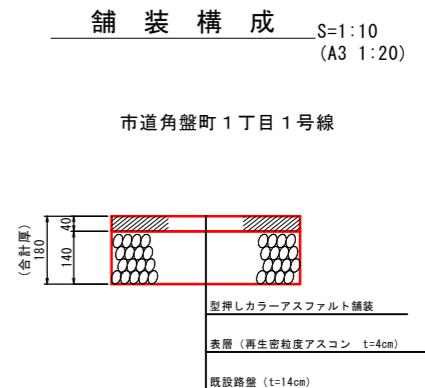
S=1:50



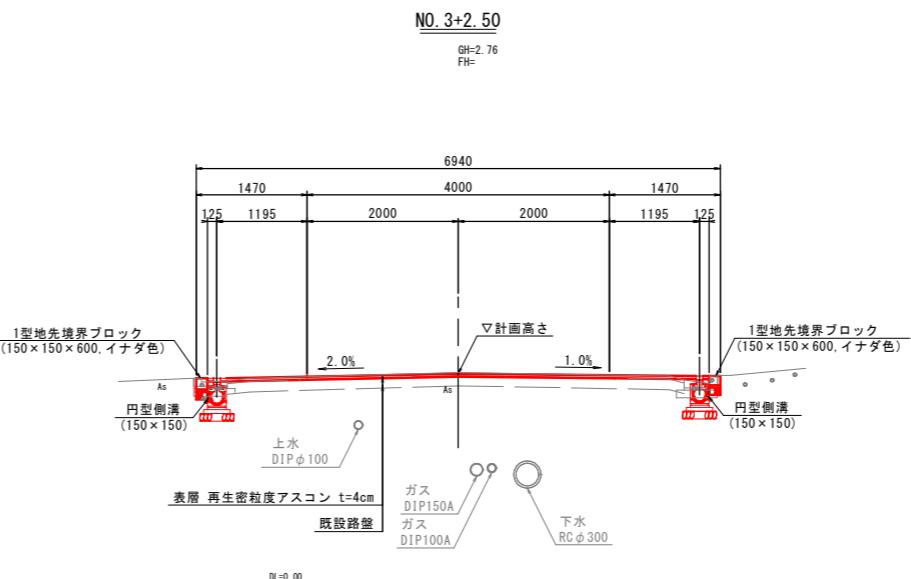
※標準道路幅員W=6.94mとして計画しているが、  
左右端部は既設L型側溝位置に合わせて1型地先境界ブロックを設置すること。



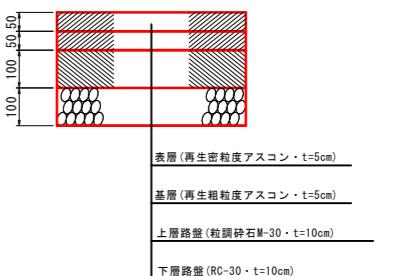
※標準道路幅員W=6.94mとして計画しているが、  
左右端部は既設L型側溝位置に合わせて1型地先境界ブロックを設置すること。



※現況舗装構成は推定値である。  
現況舗装構成が推定値と異なる場合には、監督員と協議の上、  
計画舗装構成を確保できるよう施工すること。



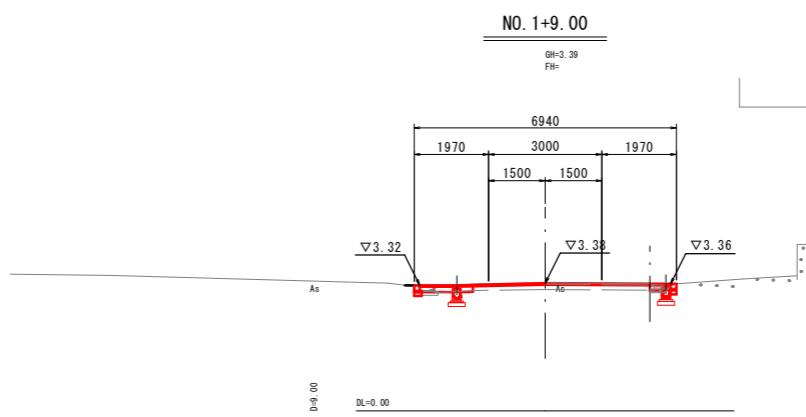
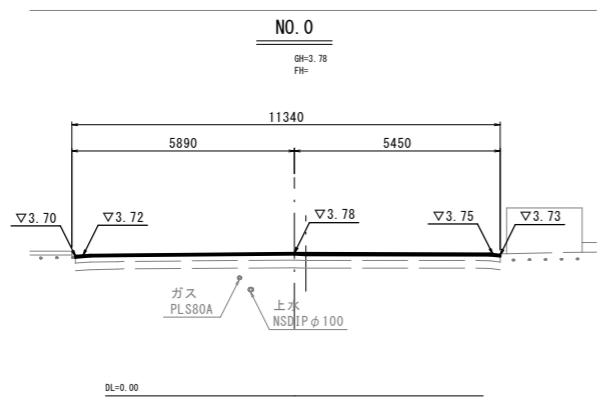
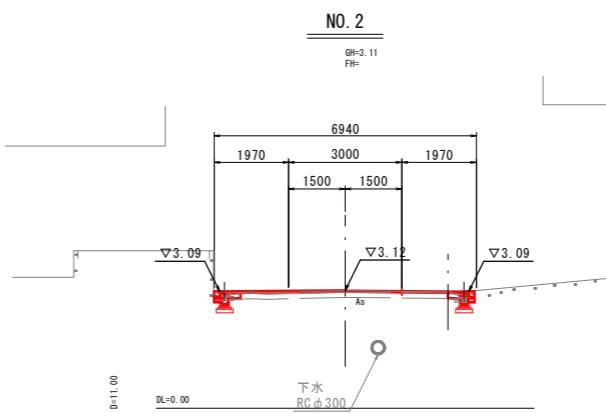
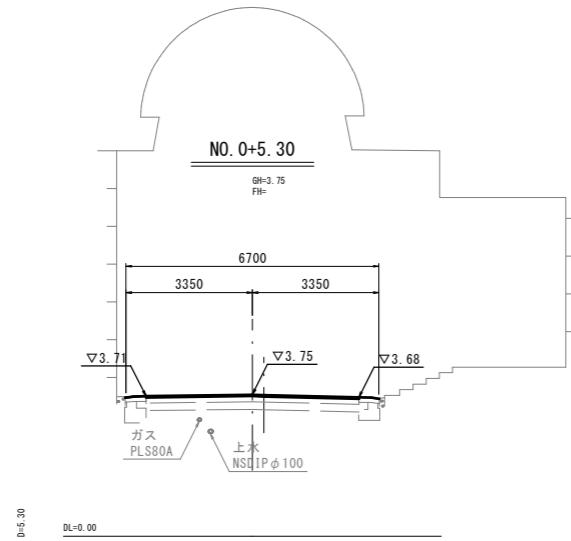
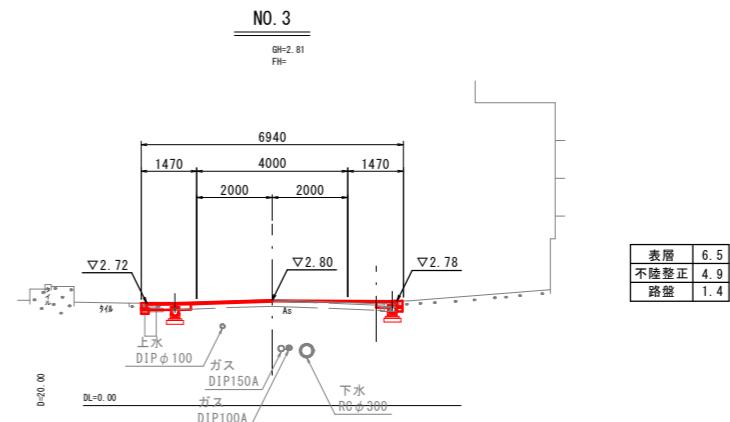
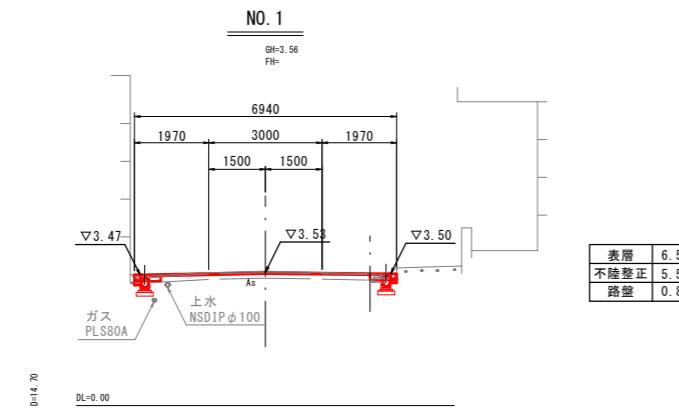
※標準道路幅員W=6.94mとして計画しているが、  
左右端部は既設L型側溝位置に合わせて1型地先境界ブロックを設置すること。



図面番号	第 8 枚内 3 号
図面名称	市道角盤町1丁目1号線道路整備工事 (ワオーカブル推進事業) 標準断面図
縮尺	1:50 (A3:1:100)
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部都市整備課	

横断図(1)

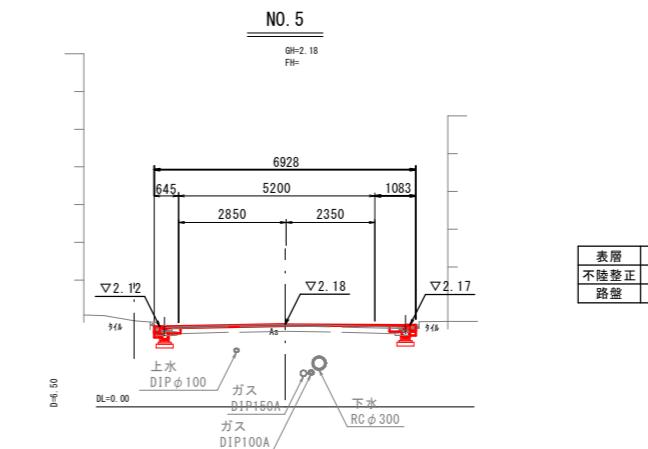
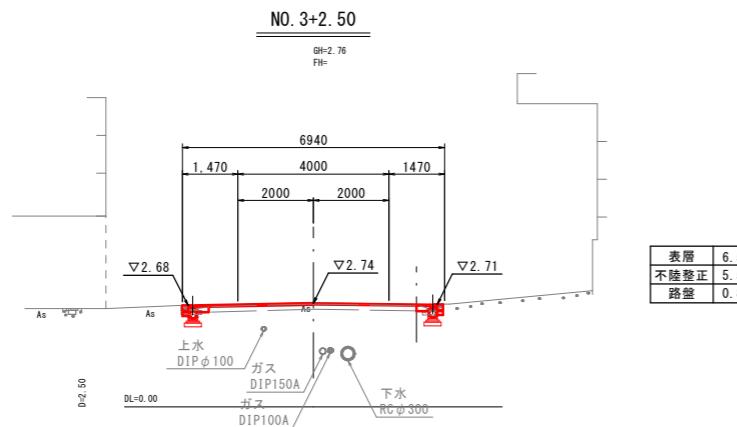
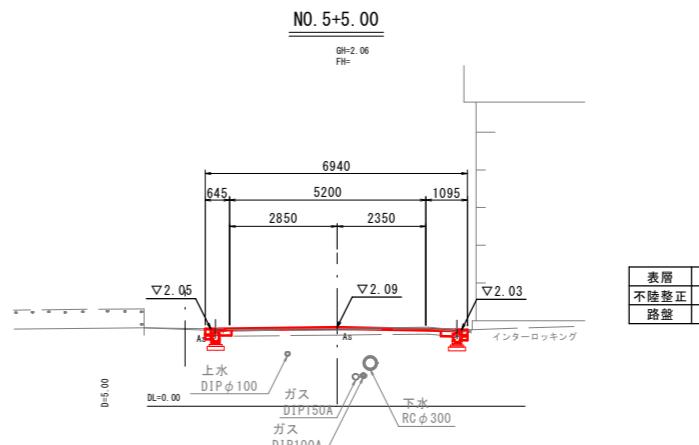
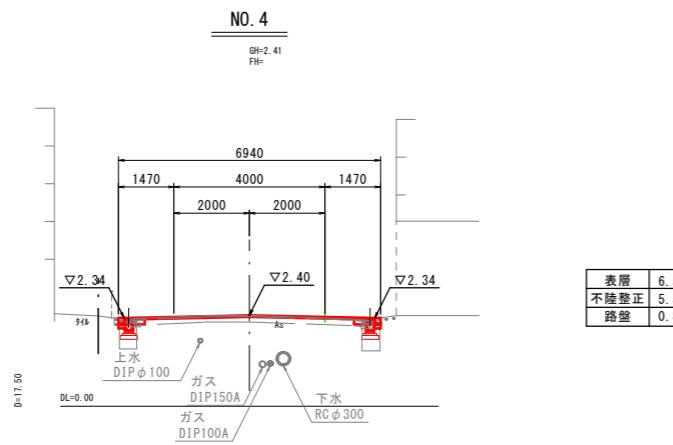
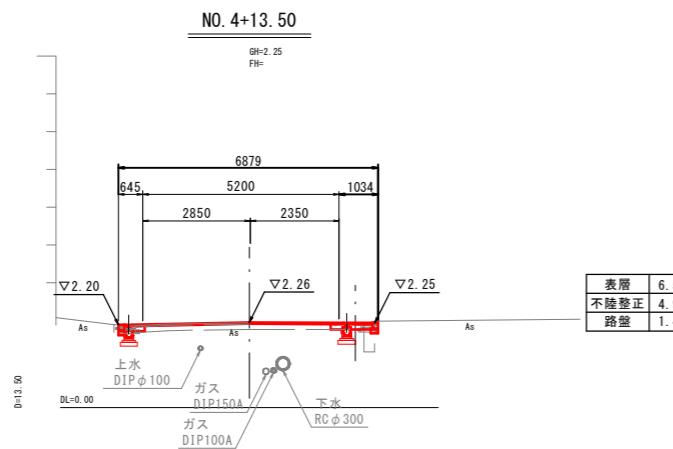
S=1:100



図面番号	第 8 枚内 4 号
図面名称	市道角盤町 1 丁目 1 号線道路整備工事 (ウォーカブル推進事業) 横断図(1)
縮尺	1:100 (A3×1:200)
製図年月日	令和 年 月 日
審査年月日	令和 年 月 日
記載	米子市都市整備部都市整備課

## 横断図(2)

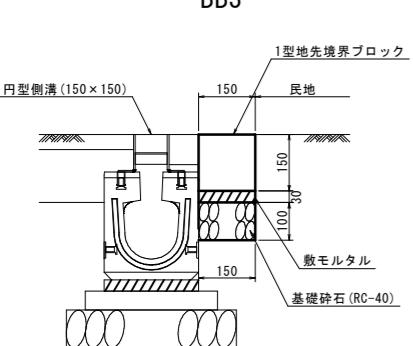
S=1:100



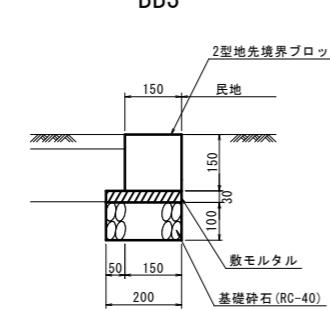
図面番号	第 8 枚内 5 号
図面名称	市道角盤町 1 丁目 1 号線道路整備工事 (ウォーカブル推進事業) 横断図(2)
縮尺	1:100 (A3=1:200)
製図年月日	令和 年 月 日
審査年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部都市整備課	

# 構造図(1)

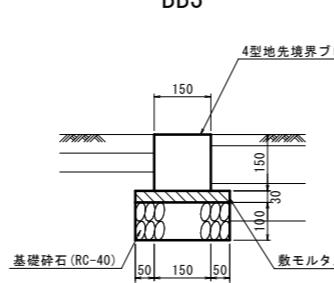
1型地先境界ブロック S=1:10(A3 1:20)



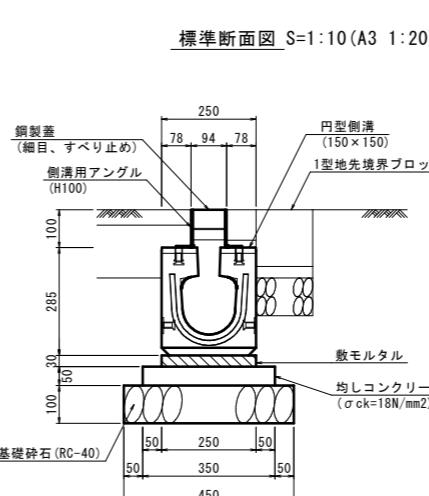
2型地先境界ブロック S=1:10(A3 1:20)



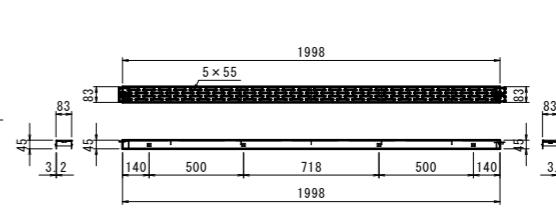
4型地先境界ブロック S=1:10(A3 1:20)



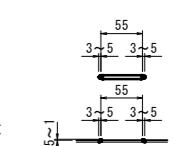
円型側溝(150×150) S=1:10(A3 1:20)



鋼製蓋詳細図 S=1:20(A3 1:40)



すべり止め部拡大図 (A3 1:10) S=1:5



1型地先境界ブロック BB3 10m当たり数量表			
名 称	規 格	単位	数 量
地先境界ブロック	擬石イナダ色 150×150×600	個	16.5
敷モルタル	1 : 3	m <sup>3</sup>	0.04
基礎碎石	RC-40 t=10cm	m <sup>2</sup>	1.50

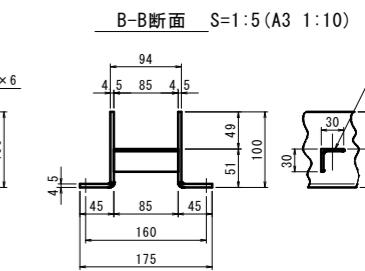
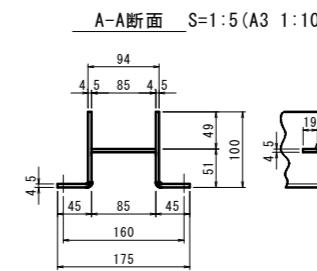
※1型地先境界ブロック天端は既設L型側溝天端に合わせることを基本とする。

2型地先境界ブロック BB3 10m当たり数量表			
名 称	規 格	単位	数 量
地先境界ブロック	擬石イナダ色 150×150×600	個	16.5
敷モルタル	1 : 3	m <sup>3</sup>	0.05
基礎碎石	RC-40 t=10cm	m <sup>2</sup>	2.00

※2型地先境界ブロック天端は既設L型側溝天端に合わせることを基本とする。

4型地先境界ブロック BB3 10m当たり数量表			
名 称	規 格	単位	数 量
地先境界ブロック	普通色 150×150×600	個	16.5
敷モルタル	1 : 3	m <sup>3</sup>	0.08
基礎碎石	RC-40 t=10cm	m <sup>2</sup>	2.50

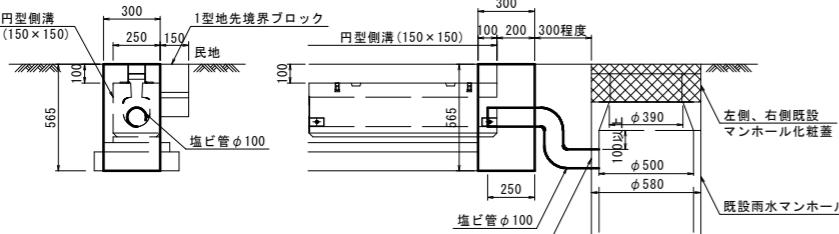
円型側溝(150×150) 10m当たり数量表			
名 称	規 格	単位	数 量
円型側溝	道路継断用 150×150 L=2000	個	5.0
敷モルタル	1 : 3	m <sup>3</sup>	0.08
均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$ t=5cm	m <sup>3</sup>	0.18
型枠		m <sup>2</sup>	1.00
基礎碎石	RC-40 t=10cm	m <sup>2</sup>	4.50
側溝用アングル	H100	個	5.0
鋼製蓋	細目 すべり止め	枚	5.0



端止工 S=1:20(A3 1:40)

標準断面図

側面図



端止工 1箇所当たり数量表			
名 称	規 格	単位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m <sup>3</sup>	0.04
型枠		m <sup>2</sup>	0.51
塩ビ管	VU100	m	1.00
塩ビ管継手	90° エルボ (VU100用)	個	2.0
コンクリート削孔	$\phi 100mm$	箇所	1.0

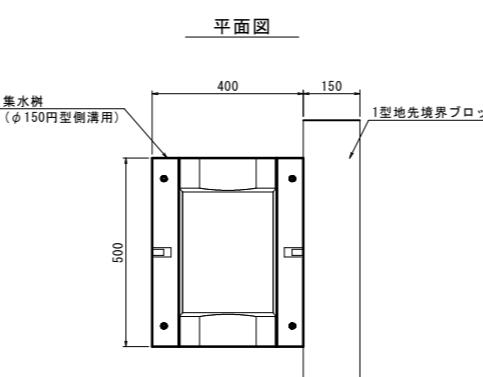
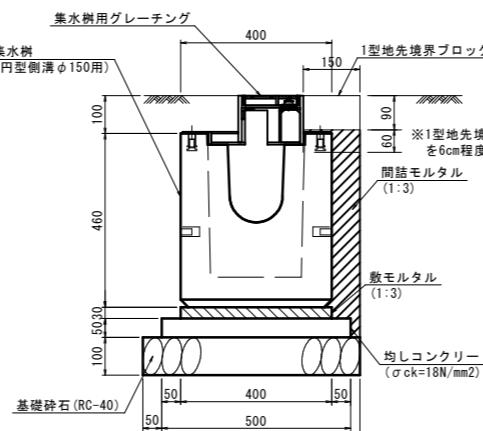
※既設雨水マンホール形状は推定形状である。  
塩ビ管の長さ・方向は、施工時に現地に合わせて調整すること。

※既設雨水マンホールへの削孔位置は、既設排水管に影響しないよう施工時に現地に合わせて調整すること。

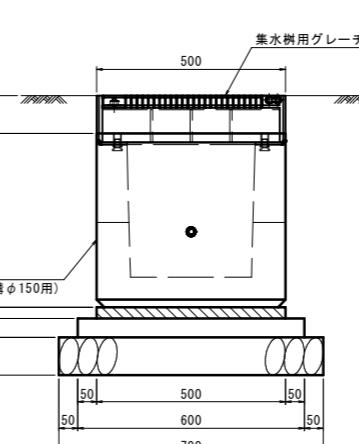
※既設雨水マンホールへの削孔位置は、既設雨水マンホール斜壁から10cm以上の離隔を確保するよう現地に合わせて調整すること。

※端止工が1型地先境界ブロックから離れた配置の場合、型枠側溝中心と端止工壁中心を合わせるよう端止め工を施工する。

標準断面図

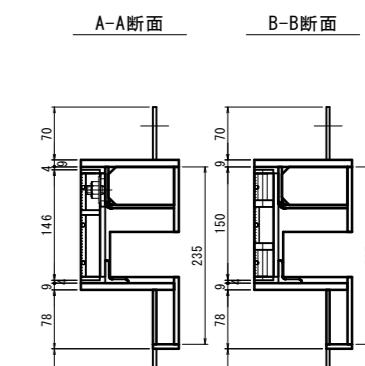
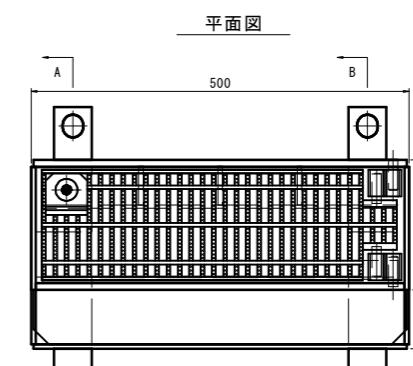


側面図

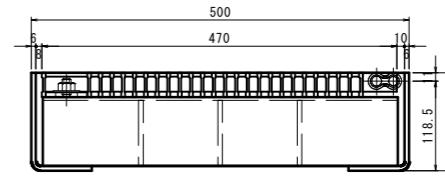


集水樹 S=1:10(A3 1:20)

グレーチング詳細図 S=1:5(A3 1:10)



側面図



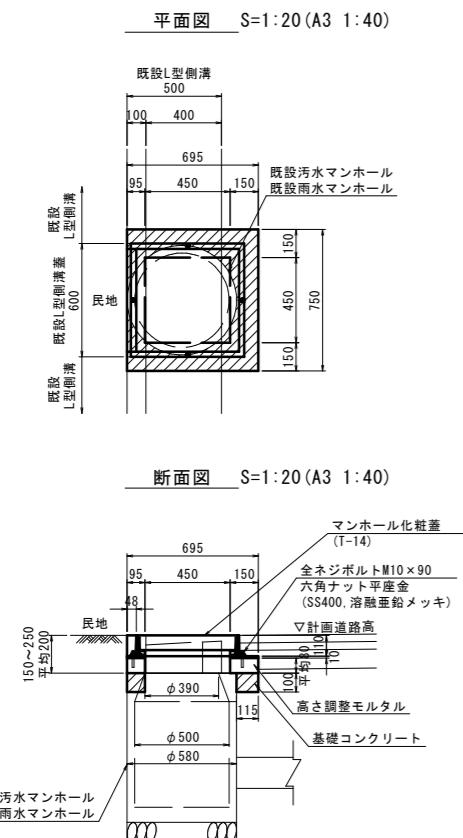
集水樹(円型側溝φ150用) 1箇所当たり数量表			
名 称	規 格	単位	数 量
集水樹	円型側溝 φ150用	個	1.0
敷モルタル	1 : 3	m <sup>3</sup>	0.01
均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$ t=5cm	m <sup>3</sup>	0.02
型枠		m <sup>2</sup>	0.11
基礎碎石	RC-40 t=10cm	m <sup>2</sup>	0.40
グレーチング	T-25, 細目 すべり止め	枚	1.0
間詰モルタル	1 : 3	m <sup>3</sup>	0.02

※集水樹区間に設置する1型地先境界ブロックは、施工時に厚さ6cm程度製品をカットして施工する。

図面番号	第 8 枚内 6 号
図面名称	市道角盤町1丁目1号線道路整備工事 (ウォーカブル推進事業) 構造図(1)
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部都市整備課	

構造図(2)

左側既設マンホール化粧蓋



**マンホール化粧蓋 S=1:10**  
詳細平面図 (A3 1:20)

600  
544  
450  
514  
450  
4-R7.5

水抜き孔 4ヶ所-10×12  
カバー(側面下側)  
水抜き孔 4ヶ所-15×12  
受栓(側面下側)

**スライドハンドル S=1:10**  
(A3 1:20)

204  
157

**マンホール化粧蓋 S=1:10**  
詳細断面図 (A3 1:20)

544  
526  
490  
110  
キャップ  
(ロブレン)  
ツキン  
(ロブレン)

スライドローラー  
(SUS304)

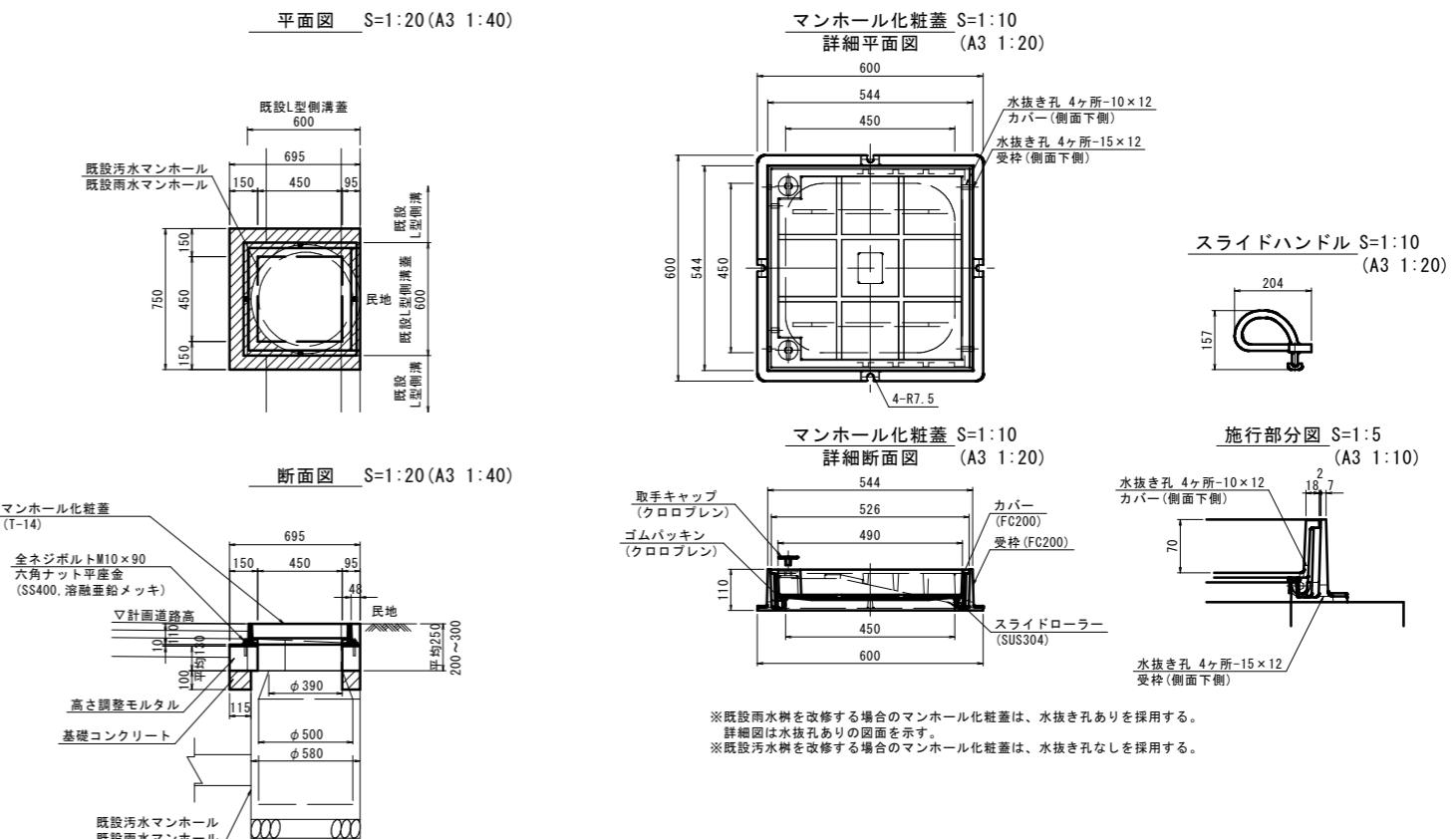
カバー  
(FC200)  
受栓(FC200)

**施工部分図 S=1:5**  
(A3 1:10)

水抜き孔 4ヶ所-10×12  
カバー(側面下側)  
70  
18.7  
敷砂または  
モルタル  
水抜き孔 4ヶ所-15×12  
受栓(側面下側)

※既設雨水樹を改修する場合のマンホール化粧蓋は、水抜き孔ありを採用する。  
　詳細図は水抜孔ありの図面を示す。  
※既設污水樹を改修する場合のマンホール化粧蓋は、水抜き孔なしを採用する。

右側既設マンホール化粧蓋



※既設雨水樹を改修する場合のマンホール化粧蓋は、水抜き孔ありを採用する。  
 詳細図は水抜孔ありの図面を示す。  
 ※既設汚水樹を改修する場合のマンホール化粧蓋は、水抜き孔なしを採用する。

左側既設マンホール化粧蓋		1箇所当り数量表	
名 称	規 格	単 位	数 量
マンホール化粧蓋	T-14	個	1.0
全ネジボルト	M10×90	本	4.0
六角ナット平底座	SS400 溶融垂鉛メッキ	個	4.0
高さ調整モルタル	無収縮モルタル	m <sup>3</sup>	0.03
基礎コンクリート	σ ck=18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	0.03
型枠		m <sup>2</sup>	0.66

- ※高さ調整モルタルの高さh=80mmは、概ねの平均値である。
- ※高さ調整モルタルの高さは、施工時に現地に合わせて調整すること。
- ※既設雨水樹、既設污水樹形状は指定である。
- 基礎コンクリート形状は、施工時に現地に合わせて調整すること。
- ※既設雨水樹、既設污水樹と道路端部の位置は概ねの位置である。
- 民地側は取扱い不計画としているが、施工時に指定形状との違いから施工が困難と判断される場合は、監督員と協議の上、民地側の撤去、復旧などの対応が必要である。
- ※化粧蓋内の厚さはt=7cmとなる。

右側既設マンホール化粧蓋		1箇所当り数量表	
名 称	規 格	単 位	数 量
マンホール化粧蓋	T-14	個	1.0
全ネジボルト	M10×90	本	4.0
六角ナット平座金	SS400 溶融亜鉛メッキ	個	4.0
高さ調整モルタル	無收縮モルタル	m <sup>3</sup>	0.04
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m <sup>3</sup>	0.03
型枠		m <sup>2</sup>	0.90

- ※高さ調整モルタルの高さ

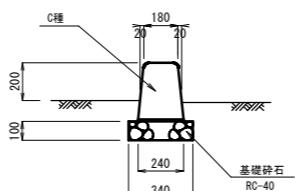
### h=130mm

は、概ねの平均値である。  
　高さ調整モルタルの高さは、施工時に現地に合わせて調整すること。
- ※既設雨水水栓、既設汚水水栓形状は推定である。
- ※基礎コンクリート形状は、施工時に現地に合わせて調整すること。
- ※既設雨水水栓、既設汚水水栓と道路端部の位置は概ねの位置である。  
　民地側は取扱い難い状況をしているが、施工時に推定形状との違いから施工が困難と判断される場合は、監督員と協議の上、  
　民地側の撤去、復旧などの対応が必要である。
- ※化粧蓋内の厚さは

### t=7cm

となる。

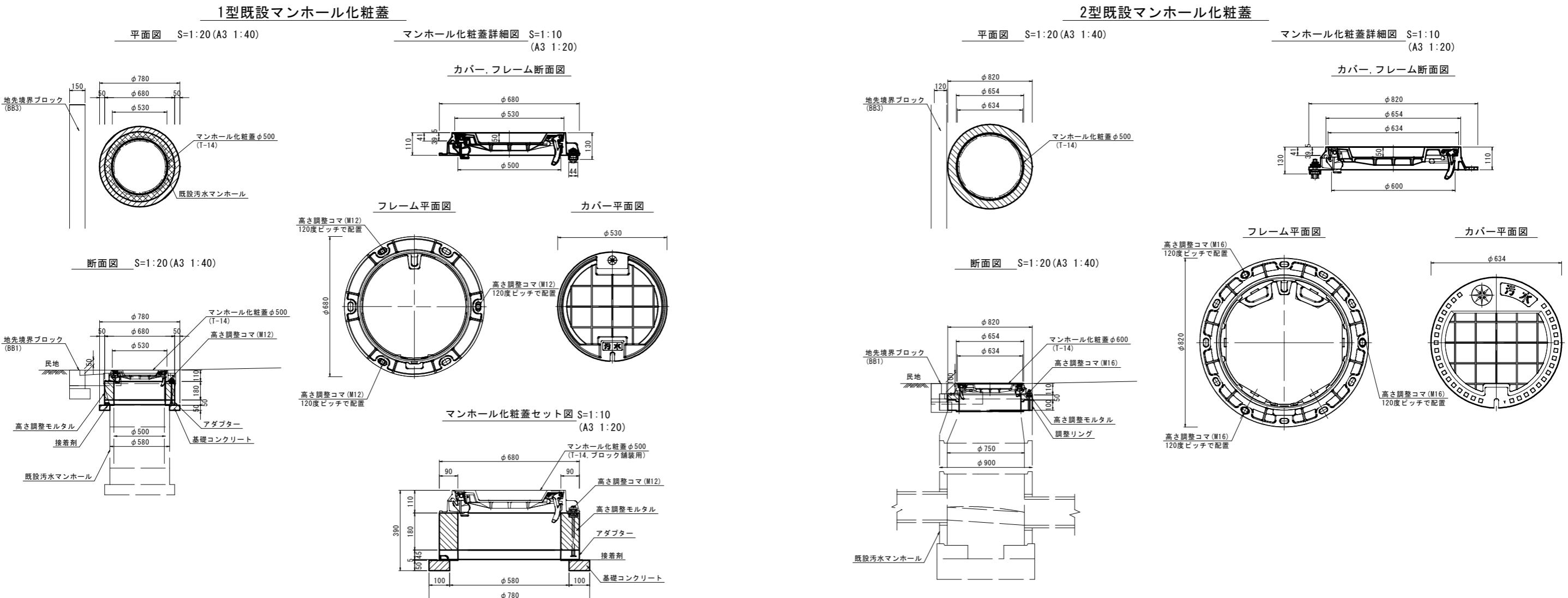
## 歩車道境界ブロック(フラットタイプ)



数量表			10m当り
名 称	規格・寸法	単位	数 量
境界ブロック	C種・L600	個	16.5
敷モルタル	1:3	m	0.024
基礎砕石	RC-40, t=10cm	m	7.000

図面番号	第 8 枚内 7 号
図面名称	市道角盤町 1 丁目 1 号線道路整備工事 （「ウォーカブル推進事業」） 構造図(2)
縮尺	図 示
製図年月日 写真年月日	令和 年 月 日 令和 年 月 日
米子市都市整備部都市整備課	

### 構造図(3)



1型既設マンホール化粧蓋 1箇所当たり数量表		
名 称	規 格	単位 数 量
マンホール化粧蓋	T-14, φ 500	個 1.0
高さ調整コマ	M12用	組 3.0
高さ調整モルタル	無収縮モルタル	m <sup>3</sup> 0.03
アダプター	t=45	個 1.0
基礎コンクリート	σ ck=18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup> 0.01
型枠		m <sup>2</sup> 0.79

※高さ調整モルタルの高さh=180mmは、概ねの平均値である。  
高さ調整モルタルの高さは、施工時に現地に合わせて調整すること。  
※既設マンホール形状は推定である。  
基礎コンクリート形状は、施工時に現地に合わせて調整すること。  
※化粧蓋内の厚さはt=5cmとなる。  
表層t=5cmを化粧蓋内に打設する。

2型既設マンホール化粧蓋 1箇所当たり数量表		
名 称	規 格	単位 数 量
マンホール化粧蓋	T-14, φ 600	個 1.0
高さ調整コマ	M16用	組 3.0
高さ調整モルタル	無収縮モルタル	m <sup>3</sup> 0.01
型枠		m <sup>2</sup> 0.22
調整リング	H-100	個 1.0

※高さ調整モルタルの高さh=50mmは、概ねの平均値である。  
高さ調整モルタルの高さは、施工時に現地に合わせて調整すること。  
※既設マンホール形状は推定である。  
既設マンホールが推定形状と異なる場合は、  
基礎コンクリートを設置する等、施工時に現地に合わせて対応すること。  
※化粧蓋内の厚さはt=5cmとなる。  
表層t=5cmを化粧蓋内に打設する。

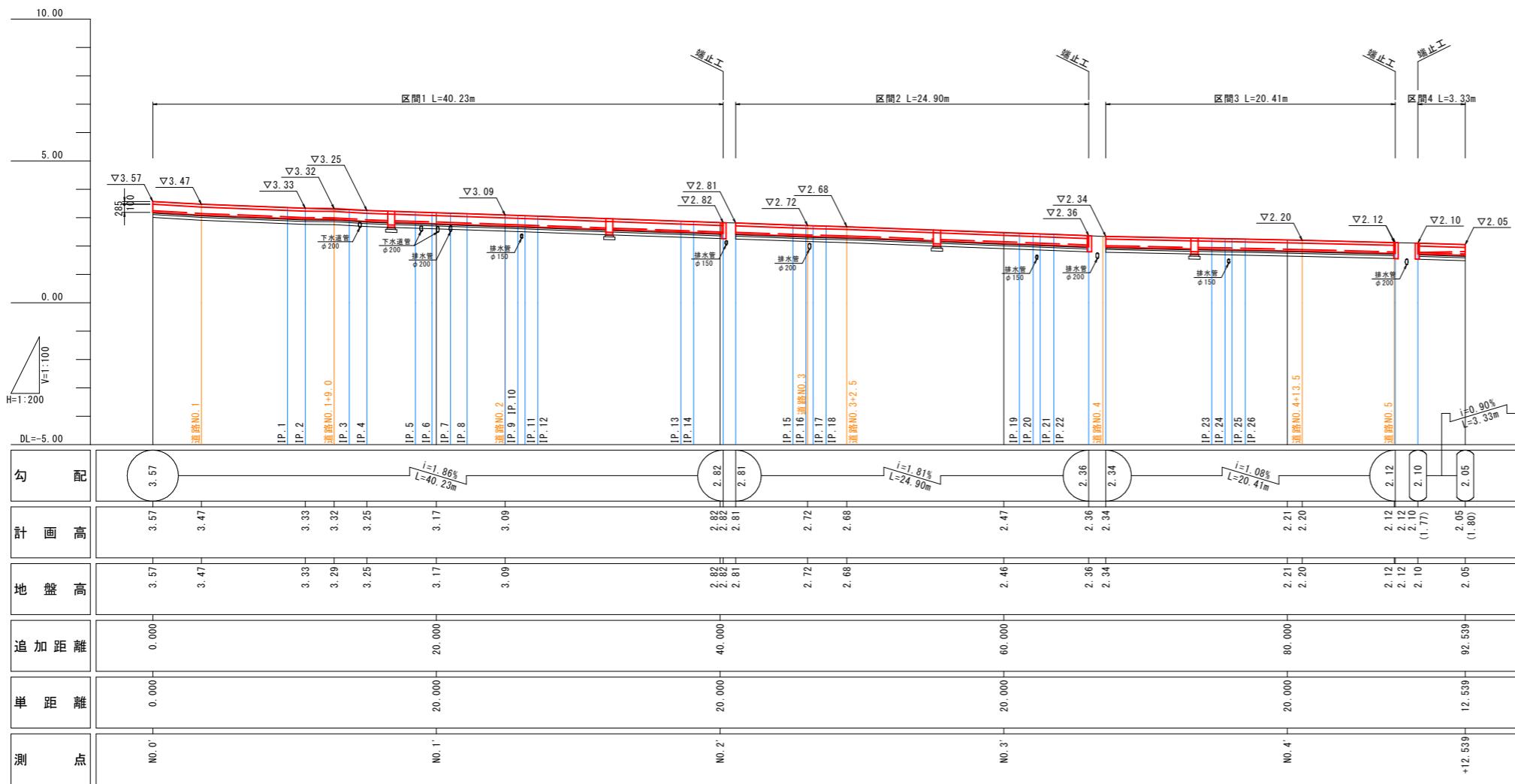
図面番号	第 8 枚内 8 号
図面名称	市道角盤町1丁目1号線道路整備工事 (ワーカブル推進事業) 構造図(3)
縮尺	図 示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部都市整備課	

# 左側道路側溝縦断図

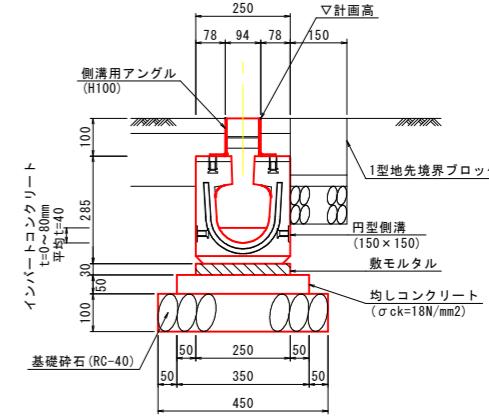
V=1:100  
H=1:200

(参考図)

左側道路側溝縦断図  
V=1:100  
H=1:200



標準断面図 S=1:10 (A3 1:20)

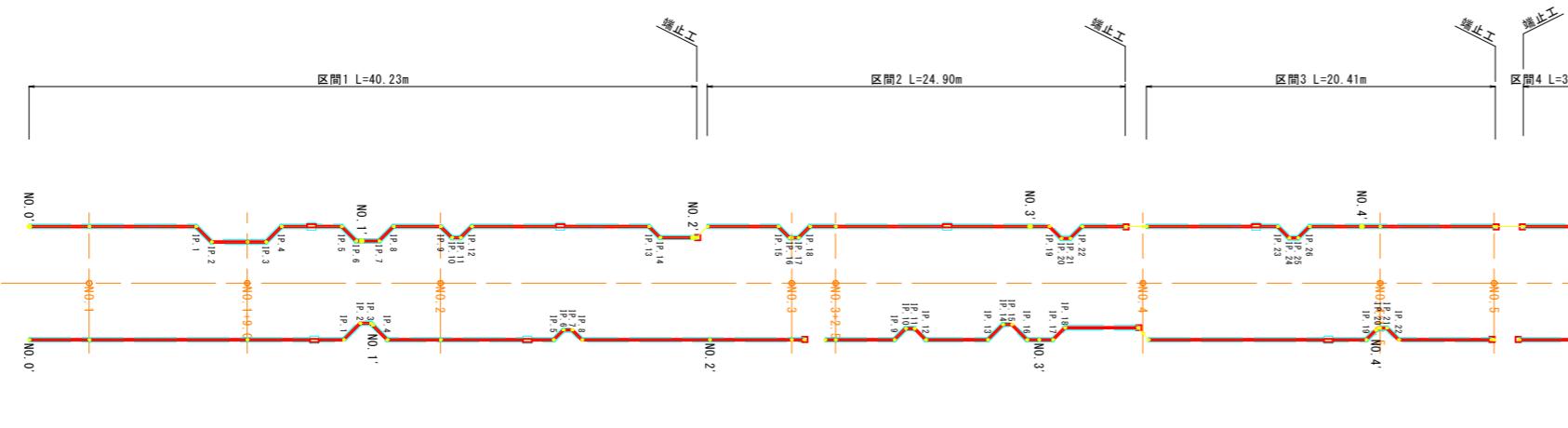


※計画高は、計画道路側溝天端高さを示す。  
※計画道路側溝計画高は1型、2型地先境界ブロック天端に合わせる計画とする。  
※1型、2型地先境界ブロック天端は既設L型側溝天端に合わせる計画を基本とする。  
※道路No. 1~9.0は道路横断勾配および既設マンホール天端を考慮し、  
計画道路側溝計画高(2型地先境界ブロック天端高)をv3.32としており、  
既設L型側溝天端より3cm程度高く設定していることに留意する。

※縦断図現況地形は、既設L型側溝天端高さを示す。計画道路側溝中心の現況地形高ではないことに留意する。  
※縦断図現況地形高さは、道路測点での既設L型側溝天端を既知点とし、測点間は距離累分にて推定している。  
※計画高は、計画道路側溝天端高さを示す。  
※計画道路側溝区間4は、道路縦断勾配と側溝流下方向が逆になるため、側溝底にインバートコンクリートを打設し流下方向を確保する。  
※計画高の( )内数値は、インバートコンクリート底高を示す。

# 左側道路側溝線形図

S=1:200 (A3 1:400)



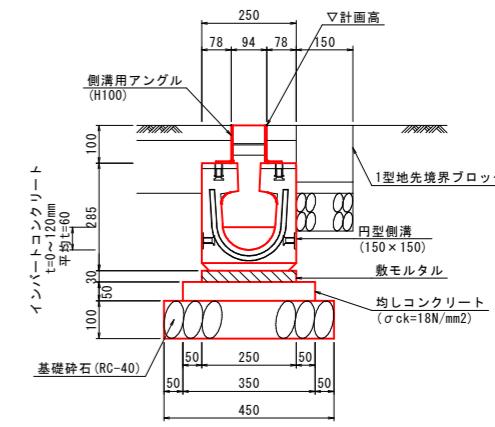
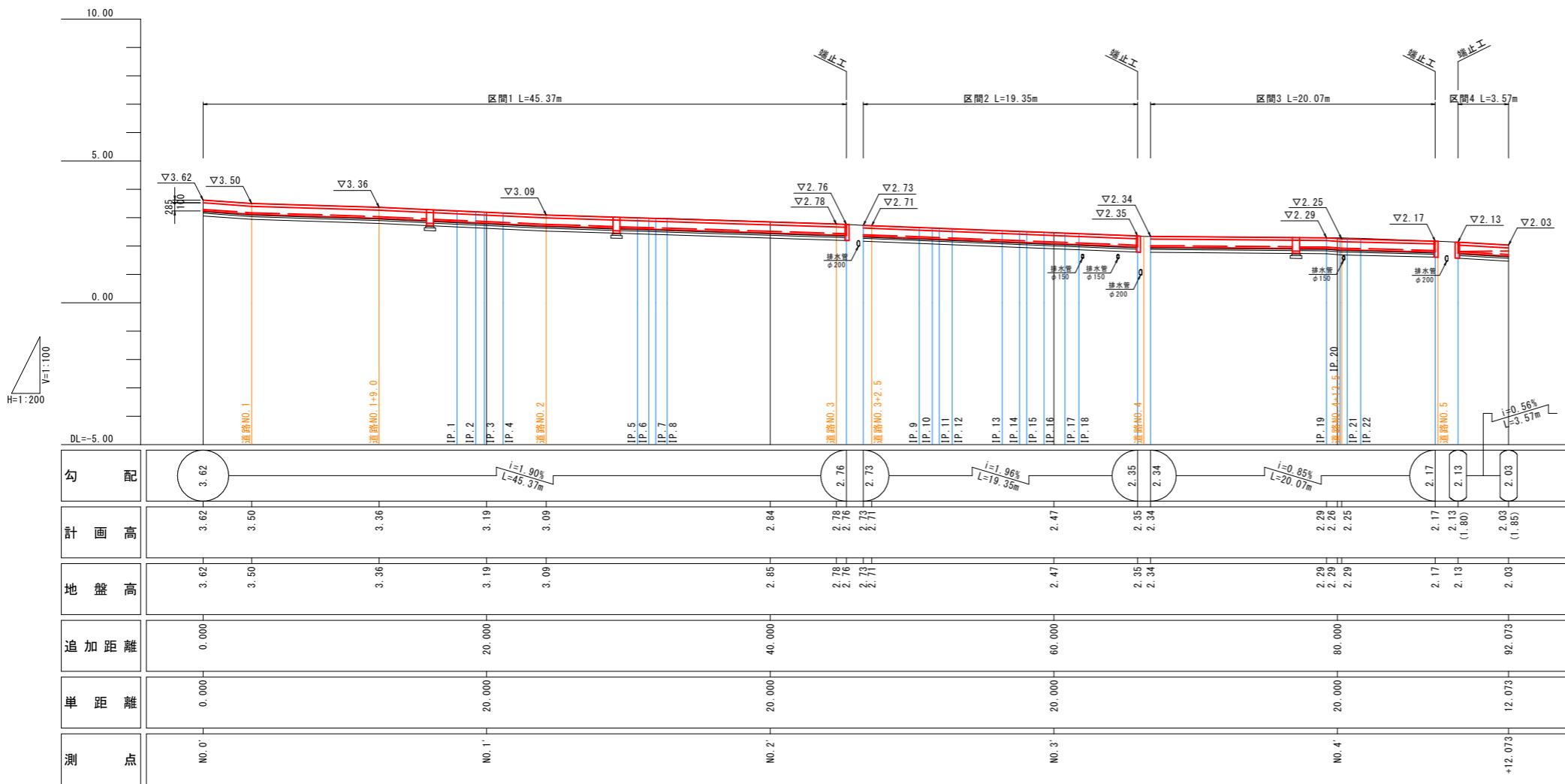
図面番号	第3枚内1号
図面名称	市道角盤町1丁目1号線道路整備工事 (ウォーカブル推進事業) 参考図 左側道路側溝縦断図
縮尺	1:100 (A3:1:200)
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部都市整備課	

## 右側道路側溝縦断図

V=1:100  
H=1:200

(参考図)

右側道路側溝縦断図  
V=1:100  
H=1:200

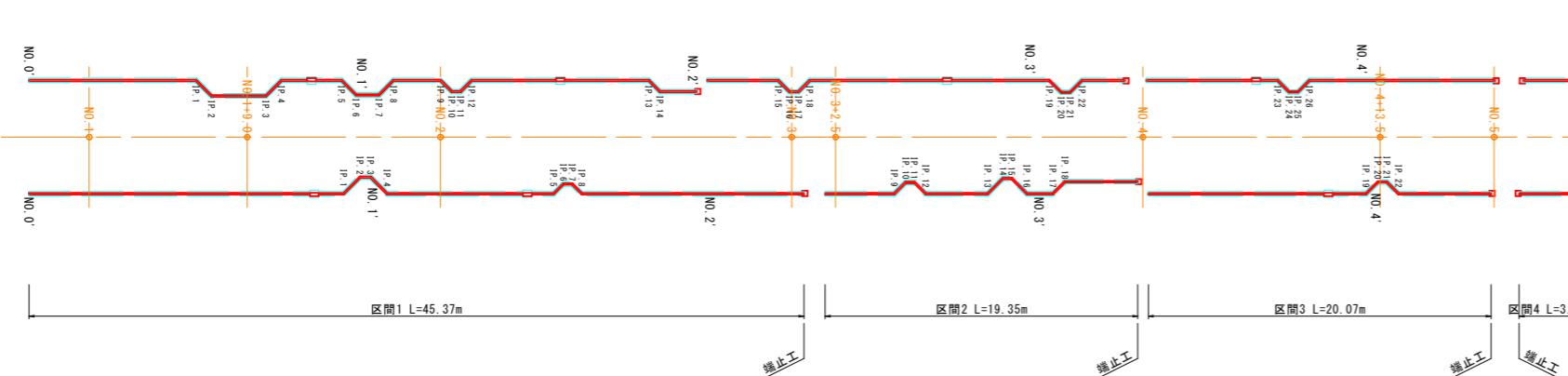


※計画高は、計画道路側溝天端高さを示す。  
※計画道路側溝計画高は1型、2型地先境界ブロック天端に合わせる計画とする。  
※1型、2型地先境界ブロック天端は既設L型側溝天端に合わせる計画を基本とする。  
※道路No.4+13.0は道路横断勾配を考慮し、  
計画道路側溝計画高(2型地先境界ブロック天端高)をマ2.26としており、  
既設L型側溝天端より3cm程度低く設定していることに留意する。

※縦断図現況地形は、既設L型側溝天端高さを示す。計画道路側溝中心の現況地形高ではないことに留意する。  
※縦断図現況地形高さは、道路測点での既設L型側溝天端を既知点とし、測点間は距離累分にて推定している。  
※計画高は、計画道路側溝天端高さを示す。  
※計画道路側溝区間4は、道路縦断勾配と側溝流下方向が逆になるため、側溝底にインバートコンクリートを打設し流下方向を確保する。  
※計画高の( )内数値は、インバートコンクリート底高を示す。

## 右側道路側溝線形図

S=1:200 (A3 1:400)

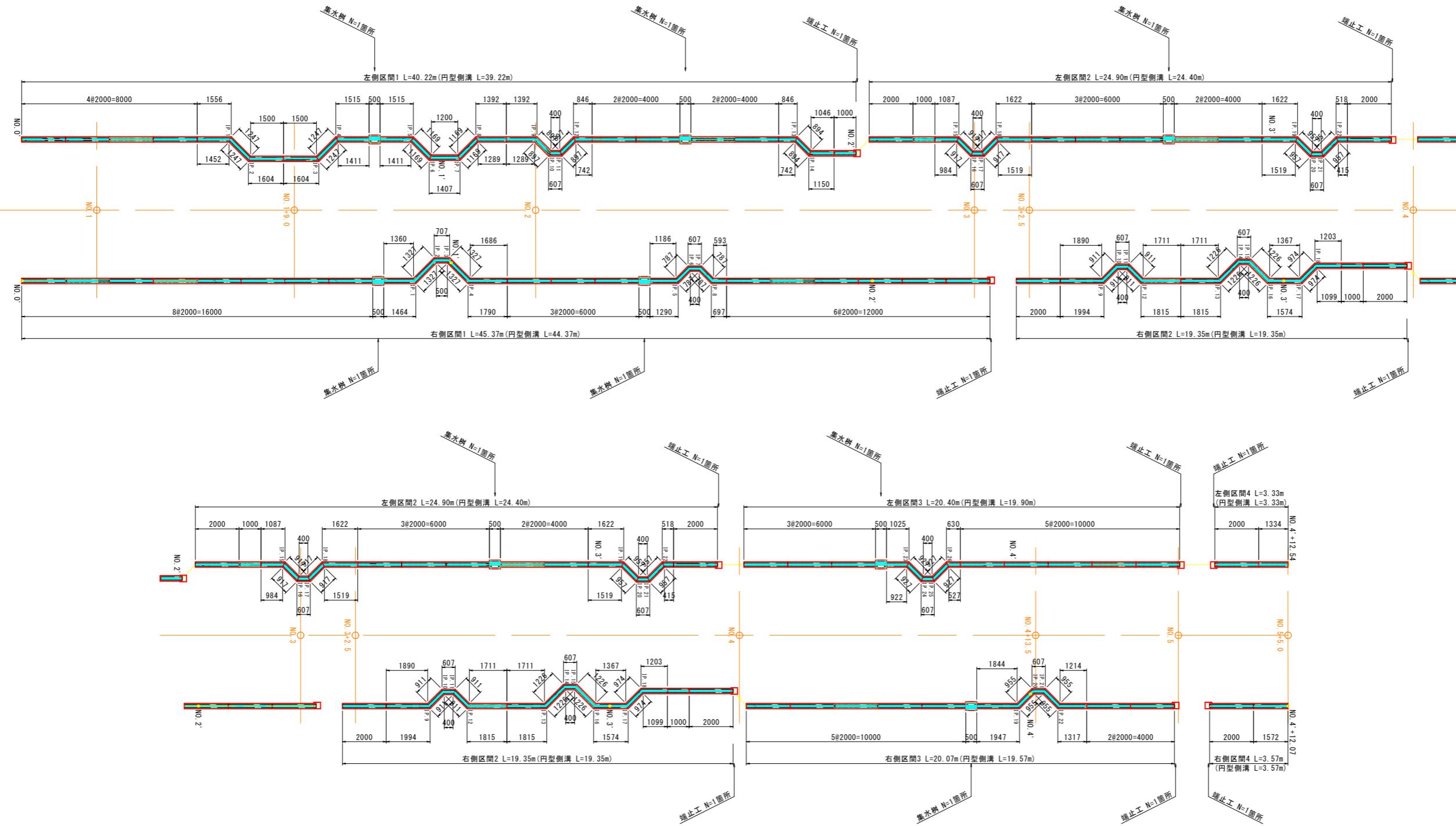


図面番号	第3枚内2号
図面名称	市道角盤町1丁目1号線道路整備工事 (ワーカブル推進事業) 参考図 右側道路側溝縦断図
縮尺	1:100 (A3:1:200)
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部都市整備課	

# 道路側溝割付図

(参考図)

S=1:100



図面番号	第3枚内3号
図面名称	市道角盤町1丁目1号線道路整備工事 (ワーカブル推進事業) 参考図 道路側溝割付図
縮尺	1:100 (A3=1:200)
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部都市整備課	